

NOTE

■事務局ノート

「折れない心をつくる シンプルな習慣」

著者：渡部卓 日本経済新聞出版社刊を読んで

折れない心、しなやかな心を作るための最大の秘訣は、物事の「受け止め方」にある。物事を後ろ向きに受け止めるといった「受け止め方の悪いクセ」を変えれば、人生が変わるといっても過言ではない。と著者は言っている。

「そんなことはわかっている！ わかっているけどできないから困っているのだ」と思う人は「わかっているけどできない」と思い込んでいることが、実は悪いクセらしい。

臨床心理学の「認知療法」物事の受け止め方を変えることで心のトラブルを解決する療法と、「行動療法」行動のクセを変えることで心の状態を整える療法を実践することで折れない心を作ることができると著者はいっている。

認知療法の例をあげると、何か出来事に対して嫌な感情が湧いた時に、自分の受け止め方を問いただして、別の受け止め方に変えてみると嫌な感情が消える。

又、行動療法の例では、神経質な人、ストレスを溜め込みやすい人には、小さな字を書く人が多い。そんな人は、大きくゆったりした字を書く習慣をつければ、人柄も大きくゆったりしてくる。といった具合である。

興味のある方は一度読まれてはいかがでしょうか？

お知らせ

8月の理事会で、75周年記念として何か記念になるものを作ってはいかがでしょうか？

ということで、何が良いか色々意見がでました。

11月の総会の時にお渡ししたいと思います。

どうぞ期待！

私たちは企業の発展を支えるアウトソーシングカンパニー。実績と信頼でお応えします。



業務内容

- 業務請負業 ● 人材派遣業 厚生労働大臣許可番号 (般-27-180005)
- 物流業務請負業 ● 内装仕上り事業 大阪府知事許可番号(般-11)第111514号
- 代行サービス業 ● 介護保険福祉事業 大阪府指定居宅サービス事業所第2773200940号

21世紀のアウトソーシング
株式会社 ナンワ

〒570-0039 大阪府守口市橋波西之町1-6-9
TEL.06-6998-4560 FAX.06-6998-4570
URL http://www.nanwa-net.co.jp/
E-mail nanwa.co@hi-ho.ne.jp
フリーダイヤル:0120-154-708

会員情報お待ちしております。申し込みは事務局まで。

昭和12年創立

平成23年 8月25日発行



AKINAI Club
アキナイクラブ

〒541-0046
大阪市中央区平野町 3-3-6
平野町 Kanビル 5F
アクティブ経営研究所 内
TEL 06-6228-8152
FAX 06-6228-8153
会長 坂本庄治
編集発行人 鏑方貞了

9月例会のお知らせ

「東アジアの現状と課題」

早稲田大学客員教授、同志社大学客員教授
杉田 定大先生

アキナイクラブ・申合せ

1. 自他を利する アキナイ精神を發揮する
1. 職業を大切に 研究につとめる
1. 時を尊ぶ
1. 愉快地 気軽に まじわる
1. 例会に出席する

東アジアのボリュームゾーンの展開、日本企業の進出先としての可能性やFTA戦略などについて解説。

〈略歴〉

1980年に通産省に入省。通商政策、経済協力、新産業政策、防衛政策、中小企業政策、知的財産戦略政策などにかかわる。最近ではASEANとのFTAやインフラ輸出政策を牽引した。

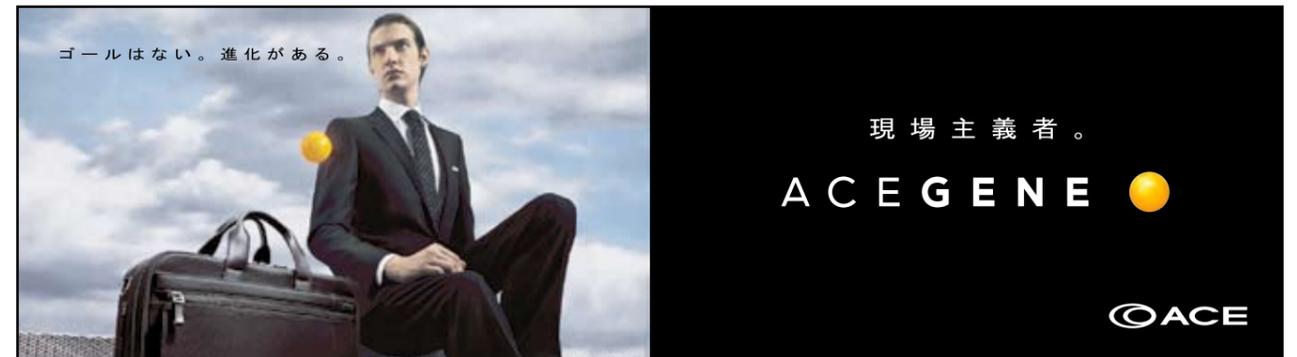
一昨年退官後、早稲田大学客員教授、同志社大学客員教授に就任。現在知財政策やベンチャー経営論などを研究、指導。阪神淡路大震災の復興チームに関係した経験を買われ、東日本大震災の復興計画に関与。官民連携手法の導入に尽力。タクシン元タイ首相の東日本被災地訪問にも同行。

日時
平成23年 9月20日(火)
13:00 ~ 16:00
(間違えないように!!!)
講演は14時からです

場所
ニューミュンヘン南大使館
〒542-0075
大阪市中央区難波千日前12-35
SWINGヨシモトビル2F
TEL 06-6631-8827

会費
¥2,000円 (同伴者同額)

※会場準備の都合により9月12日までに欠席をご連絡下さい



名譽顧問：◎上野 一郎 ◎田中 四郎 顧問：◎大谷 豊一 ◎塩路 和子
名譽会長：◎北橋 茂登志 会長：◎坂本 庄治 副会長：◎新川 晃生 ◎不破 常雄 ◎澤井 まき子 ◎上田 賢二
理事：◎井上 貴司 ◎網干 輝雄 ◎谷口 賢 ◎松下 哲也 ◎金星 三代子 ◎門内 穂 ◎小田 切和起 ◎小崎 章年 ◎最上 正太郎
◎吉田 誠
監事：◎山根 敬介 ◎野田 邦雄 事務局長：◎鏑方 貞了

会員61名

「エネルギー問題の昨日・今日・明日」



木全吉彦先生

大阪ガス株式会社
理事 エネルギー・文化研究所長
木全 吉彦 先生

皆さん、こんにちは。今のエネルギー問題への関心は、これまでの社会人、生活人としての人生の中で、石油ショック以来だと思えます。あの時はイコール物不足でしたが、今回はエネルギーそのもの、電気という中核的なエネルギーがひょっとしたら足りない、あり得ないことが起こってしまっています。皆様方のお声を聞いて、我々が何をすべきかを考えるよすがにしたいなと思っています。

各企業におかれましては節電の数値目標を立てておられるでしょうか。東京では15%節電しないと罰金ということが言われています。会社によってはワークライフバランスが崩れてしまうのではないかなというように、例えば土日、休日をずらすことによって出てくる影響も考えられます。

それぞれのエリアにガス会社と電力会社がありますが、売上や利益、従業員の数を比較すると、関西エリアが一番規模の差が小さいです。皆様のお住まいのエネルギー、やはり電気は何にでも使えるということで利便性が高く、ナンバーワンエネルギーで、ガスはどうしても二番手になってしましますが、何とか電気や石油と勝負して頑張らないと、使って頂けないのではないかなという意識を社員はかなり持っています。エネルギー・文化研究所（CEL）が設立されたのは25年前、私を入れて10名の小さな組織で、生活者の快適な暮らしとビジネスの発展に貢献する大阪ガスグループが、末長く、社会のお役に立つ存在であり続けることができるよう、企業と社会の“より良い関係”を築くための研究に取り組んでいます。研究領域としてはエネルギー・環境、住まい・生活、都市コミュニティについて、或いは「なにわの語り部」ということで女性メンバーが、昔の大阪

の町並みをスライドでプレゼンテーションすることにもしています。また、3カ月に1回研究成果をまとめた季刊誌「CEL」を出しています。研究者だけではなく、有識者の方々に話を聞いて、投稿、寄稿して頂いたものと併せて発表をしています。



熱心に聞き入るメンバー

エネルギーについて、一次エネルギーと二次エネルギーがあり、電気の原材料の段階が一次エネルギーで、電気は二次エネルギーです。我々都市ガスのビジネスは、天然ガスという材料から二次エネルギーの都市ガスを供給しており、本当に一本線のシンプルな事業です。また、原油を輸入して精製し、灯油や重油を供給する石油業界があります。

日本のエネルギー消費は、3つの部門に分けて考えることができます。私たちが家庭や職場で直接エネルギーを利用する民生部門、ヒトやモノの輸送にエネルギーを利用する運輸部門、モノの生産にエネルギーを利用する産業部門です。産業部門は石油ショック以降、消費量の伸びは概ね横ばいで、かなりの省エネ努力が行なわれた結果であり、民生・運輸部門は大幅に増加しています。こ

こで、無駄遣いはやめましょうというだけでは解決できず、供給をどうしたらよいかということになります。

そんな中でのエネルギー基本計画が、資源・エネルギーを取り巻く大きな環境変化を踏まえて進められ、原子力に頼ろうということが決められた半年後に原発事故が起きました。これによって白紙に戻って一から考え直すことになるようです。そして今後のエネルギー政策の方向性として示されたのが、化石燃料、原子力、再生可能エネルギー、省エネルギーの四本柱です。ただ原子力については見通しがたたず、エネルギーの構成を変えるのはかなり難しいと思われま



質問：三木さん

今後、供給サイドではどうしたらよいか、需要サイドではどうしたらよいか。供給サイドにおいては、多様化しておくこと、ガスや石油、LPGでできることもありますので、色々なエネルギーを組み合わせる方向性があるというのが大阪ガスとしての意見です。エネルギーセキュリティの問題、地震・津波対策の見直し、供給源の二重化ということも重要になります。需要サイドとしてはエネルギーの有効利用、家庭においても電気だけではなくガスも視野に入れて頂ければと思います。デマンドサイドマネジメントの導入、消費者側が管理制御に関わるというものです。生活者のライフスタイルを変える、行動パターンを変えるということです。家庭での節電の3つの方法は、減らす、ずらす、切り替えるという発想になります。他にも使わない、自然の力を使うことも考えられます。節電をきっかけに、エネルギーのことを皆様と考えて頂くいいチャンスではないかと思っています。

震災を受けて、かなり我々の意識が変わってきています。意識しないで省エネ、自給自足、地域コミュニティの大切さが挙げられます。こうい

う時期こそ色々と議論し、自分たちでできること、色々な人たちに向けて働きかけられることを、じっくりとやっていきたいと考えています。ピンチはチャンス、持続可能な日本を目指してお互いに頑張りましょう。



質問：橋本さん

【質疑応答】

- Q) メタンハイドレートが話題になっていますね。
A) メタンハイドレート、シェールガスは天然ガスで、新しいエネルギーではなく、昔からあることは分かっています。そろそろ経済的に見合うような形で採り出せるかもしれないと、急に注目を浴びています。恐らくメタンハイドレートはまだまだ時間がかかるし、生産まで持っていけるかどうか、専門家の中には疑っている方もいらっしゃいます。シェールガスは石の中にガスが入っており、実際に生産が始まっており、期待できると思います。石油ショック以来、石油の代わりに出てきたのが原子力で、原子力が日本のエネルギー戦略の一本柱になり、ガスも出て来て、この2つがなかったら、日本はここまできていないと思います。産業立国として必要とするエネルギーが何らかの形で必要であり、原子力が日本の成長を支えたといえます。ただ、ここにくるまでにチェックが必要であったことは否定できません。
Q) ガス器具は電気がなかったら使えないということについてはどう考えておられますか。
A) おっしゃる通りです。給湯器については電気が切れても動かせる仕組みを開発中です。以上で終わらせて頂きます。本日は有難うございました。

本当の生ビールの美味しさを知っていますか。
SAPPORO BEER RESTAURANT
株式会社 ニューミュンヘン
本社：542-0074 大阪市中央区千日前1丁目8番20号 電話番号：06 (6213) 0132
大阪・神戸

ホームライスの店
味に輝く
北極星

本社	06-6632-1591
堀江店	06-6531-0453
阿倍野店	06-6629-0863
心斎橋店	06-6211-7829
堺東アップル店	072-222-2753
高島屋泉北店	072-294-3392
淀屋橋店	06-6227-4156
高島屋大阪店	06-6631-0656
天保山マーケットプレース店	06-6576-5823
松原インター店 (松原インターゴルフ内)	072-336-3486
西武高槻店	072-682-6200
西武八尾店	0729-25-2065
大丸梅田店	06-6344-3999